

## 2024年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月8日

上場会社名 株式会社 ホーブ  
コード番号 1382 URL <https://hob.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長  
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 0166-83-3555

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年6月期第3四半期の連結業績(2023年7月1日～2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	2,157	2.0	62	55.7	63	55.6	37	62.3
2023年6月期第3四半期	2,116	3.1	140	7.9	143	9.0	99	2.5

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 37百万円 ( 62.3%) 2023年6月期第3四半期 99百万円 ( 2.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	49.38	
2023年6月期第3四半期	130.94	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期第3四半期	1,170	787	67.3	1,033.56
2023年6月期	1,108	787	71.1	1,034.18

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 787百万円 2023年6月期 787百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期		0.00		50.00	50.00
2024年6月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,596	4.3	86	36.3	87	37.1	66	40.0	86.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期3Q	762,000 株	2023年6月期	762,000 株
期末自己株式数	2024年6月期3Q	318 株	2023年6月期	318 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期3Q	761,682 株	2023年6月期3Q	761,705 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料3ページ「1. 当四半期に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気に緩やかな回復基調が見られるものの、ウクライナ情勢の緊迫が長期にわたっていることに加え、世界的な資源価格の値上がり、物流コストの高騰や円安が大幅な物価上昇を招くなど、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、自社品種「夏瑞／なつみずき」（品種登録名「ペチカほのか」）の生食用販売、業務用販売を中心に、いちご果実及びその他青果物の販売に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,157,951千円（前年同期比2.0%増加）、営業利益62,357千円（前年同期比55.7%減少）、経常利益63,752千円（前年同期比55.6%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益37,613千円（前年同期比62.3%減少）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (いちご果実・青果事業)

いちご果実・青果事業の主力商品は業務用いちご果実であります。当第3四半期連結累計期間においては、夏秋期は「夏瑞／なつみずき」（品種登録名「ペチカほのか」）、「コア」（品種登録名「ペチカエバー」）などの自社開発品種と輸入いちごを、その後は国産促成いちご（とちおとめ、紅ほっぺなど）を主に販売しております。

自社品種を主力とした夏秋期につきましては、「夏瑞／なつみずき」の販売が好調に推移した一方で、生産者の高齢化等による栽培面積の減少に加え、7月から8月にかけての長期にわたる異常な猛暑、その後の9月の残暑により8月中旬以降の出荷数量が大幅に減少いたしました。極端な高温環境は秋以降の出荷数量にも影響を及ぼし、自社品種を含めた国産いちごが品薄となる状況が長期間継続しました。そのため、輸入いちごを併用し、いちご果実の販売数量の確保に努めてまいりましたが、前年の同時期に比べ販売数量は減少いたしました。

12月のクリスマス時期については、猛暑により促成いちごの定植が全国的に遅れ、業務用サイズを中心に品薄状況となりました。市場相場価格も11月から高値の状況が続き、販売単価の上昇により売上高は増加したものの、仕入単価の上昇もあり、前年に比べ利益は減少いたしました。

年明け以降の1～3月は、前年同時期に比べ販売数量が増加し、売上高も増加いたしました。しかしながら、例年であれば市場相場価格が下がり始める3月に、寒気等の影響で市場への入荷数量が少ない状況が続いたため、市場相場価格は高値で推移いたしました。これにより仕入単価が想定よりも上回ることとなり、例年の市場相場価格に基づいて販売単価を設定していた一部の取引先に対しては利益が圧縮される結果となりました。

その他の青果物におきましては、コンビニエンスストアをはじめとした既存取引先において、フルーツの使用量が減少したことで、売上高、利益ともに前年同期を下回りました。

この結果、いちご果実・青果事業の売上高は1,921,348千円（前年同期比4.7%増加）、営業利益は144,327千円（前年同期比30.5%減少）となりました。

#### (種苗事業)

種苗事業は、自社いちご品種の「ペチカほのか」（商品名「夏瑞／なつみずき」）と「ペチカエバー」（商品名「コア」）の生産販売を主力としております。栽培方法には、秋に苗を定植し翌年春から秋にかけて果実を生産する秋定植と、春に苗を定植し夏から秋にかけて果実を生産する春定植の、概ね2体系の作型があります。当第3四半期連結会計期間においては、秋定植用苗の販売を終え、春定植用苗の販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、種苗の販売本数が減少したこと、いちご新品種の共同開発業務の終了もあり、売上高、利益ともに減少いたしました。

この結果、種苗事業の売上高は52,269千円（前年同期比28.9%減少）、営業利益は26,748千円（前年同期比38.4%減少）となりました。

#### (馬鈴薯事業)

馬鈴薯事業は、主に種馬鈴薯の生産販売、仕入販売と、青果馬鈴薯の仕入販売からなります。主要売上品である種馬鈴薯には、秋から春にかけて販売する春作と夏に販売する秋作の2体系がありますが、そのメインは春作種馬鈴薯です。当第3四半期連結会計期間におきましては、主に春作種馬鈴薯の販売を行っております。

秋作向けにおいて一部産地の種馬鈴薯の供給不足により販売数量が減少したことに加え、春作向けにおいても記録的な猛暑によってオリジナル品種を中心に種馬鈴薯の生産量が落ち込み、十分な販売数量を確保することができませんでした。

この結果、馬鈴薯事業の売上高は73,107千円（前年同期比37.5%減少）、営業利益は2,389千円（前年同期比74.6%減少）となりました。

#### (運送事業)

運送事業は、株式会社エス・ロジスティックスが行っております。関東圏を中心とした事業展開で当社の商品配

送を中核としつつ、一般荷主からの配送業務受託も行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては、一般荷主からの配送業務受託の増加により売上高は増加しました。また、当社商品の配送を含め、効率の良い自社配送を増加させ、外注費の削減が図れたことで、利益も前年同期を上回りました。

この結果、運送事業の売上高は111,226千円（前年同期比22.1%増加）、営業利益は13,085千円（前年同期は699千円の利益）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①財政状態の状況

#### （流動資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比較して60,277千円増加し、当第3四半期連結会計期間末で1,022,108千円となりました。これは売掛金が減少したものの、現金及び預金が増加したことが主因であります。

#### （固定資産）

固定資産は、前連結会計年度末と比較して2,138千円増加し、当第3四半期連結会計期間末で148,347千円となりました。これは投資その他の資産が減少したものの、有形固定資産が増加したことが主因であります。

#### （流動負債）

流動負債は、前連結会計年度末と比較して60,939千円増加し、当第3四半期連結会計期間末で235,358千円となりました。これは未払法人税等が減少したものの、買掛金が増加したことが主因であります。

#### （固定負債）

固定負債は、前連結会計年度末と比較して1,947千円増加し、当第3四半期連結会計期間末で147,850千円となりました。

#### （純資産）

純資産は、前連結会計年度末と比較して470千円減少し、当第3四半期連結会計期間末で787,247千円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の71.1%から67.3%となっております。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年2月7日の「2024年6月期第2四半期決算短信」で公表いたしました予想数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	577,913	666,133
売掛金	329,933	303,686
棚卸資産	41,947	41,885
その他	12,068	10,431
貸倒引当金	△32	△28
流動資産合計	961,831	1,022,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,525	38,937
機械装置及び運搬具(純額)	7,057	17,822
土地	37,400	37,400
その他(純額)	2,362	2,455
有形固定資産合計	87,345	96,615
投資その他の資産		
その他	58,863	51,732
投資その他の資産合計	58,863	51,732
固定資産合計	146,208	148,347
資産合計	1,108,040	1,170,456
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	66,435	157,839
1年内返済予定の長期借入金	3,996	3,996
未払法人税等	14,027	11,290
賞与引当金	—	4,664
その他	89,960	57,568
流動負債合計	174,419	235,358
固定負債		
長期借入金	8,012	5,015
退職給付に係る負債	41,582	43,143
役員退職慰労引当金	93,130	96,505
その他	3,179	3,187
固定負債合計	145,903	147,850
負債合計	320,322	383,209

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	421,250	421,250
資本剰余金	110,791	110,791
利益剰余金	256,069	255,599
自己株式	△393	△393
株主資本合計	787,717	787,247
純資産合計	787,717	787,247
負債純資産合計	1,108,040	1,170,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,116,305	2,157,951
売上原価	1,567,385	1,695,938
売上総利益	548,919	462,013
販売費及び一般管理費	408,088	399,656
営業利益	140,831	62,357
営業外収益		
受取利息	5	6
債務勘定整理益	767	884
その他	2,042	768
営業外収益合計	2,815	1,659
営業外費用		
支払利息	63	83
為替差損	46	181
その他	1	—
営業外費用合計	111	264
経常利益	143,534	63,752
特別利益		
固定資産売却益	—	841
特別利益合計	—	841
税金等調整前四半期純利益	143,534	64,593
法人税等	43,794	26,979
四半期純利益	99,739	37,613
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,739	37,613

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	99,739	37,613
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	99,739	37,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,739	37,613
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日 至2023年3月31日)

## (1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年9月29日 定時株主総会	普通株式	41,895	55	2022年6月30日	2022年9月30日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には創立35周年記念配当5円が含まれております。

## (2) 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日 至2024年3月31日)

## (1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年9月28日 定時株主総会	普通株式	38,084	50	2023年6月30日	2023年9月29日	利益剰余金

## (2) 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。